

マチ活 information

1 陸上版のカーリング「ユニカール」を体験

野津田公園町田GIONスタジアムで、ユニカール教室が開催中(10月以降は状況により)。毎週火・土曜の午前9時~11時。ユニカールとは「ユニバーサル・カーリング」の略語で、カーリングを真似てつくられた世界中誰でも楽しめるよう開発されたニューゲームです。時間等変更になる場合もあるため、参加希望者は必ずunic.machida@gmail.comにて予約を。

内容を簡単に復習する時間もあるため、初めて参加する方も気軽に参加を。詳細・申込みについては、町田市地域活動サポートオフィス<https://machida-support.or.jp/event/facili1029/>へ。

3 地域の広場アプリ 町田市エリア開設

PIAZZAは近所のイベントや暮らしの情報交換、不要になったモノのやりとりを通じ、人と人を「ありがとう」でつなぐ街のオンライン広場アプリ。町田市民の有志団体「まちのいろり」の働きかけで、「町田市エリア」版がオープンしました。



2 ファシリテーション学び 会議進行役のスキル磨き

会議の進行などで役立つスキルを学ぶことができる「ファシリテーション基礎セミナー」の最終回を、10月29日(木)にオンラインで開催します。午前10時~午後0時半。冒頭では、これまでに開催したセミナーの

4 実りの秋が到来! 小野路で収穫体験

NPO法人たがやすが主催する学童体験農園「小野路農園クラブ」では、10月18日、11月23日、12月6日に落花生やサツマイモ、大根などを収穫するイベントを開催する。対象者は未就学児、小学生、中学生とその保護者。申し込み・詳細は ☎090-3435-8611もしくは npo-tagayasu@nifty.comへ。

5 せりぼうの自然の中で 様々なステージを満喫

自然豊かな冒険遊び場を会場に、ダンス・音楽・アートのパフォーマンスを繰り広げるイベント「杜のるつぼう」を11月28日に開催。午前11時~午後3時半。11月14日、12月12日は午後2~3時。問い合わせは asobekodomotati@yahoo.co.jp へ。

町田市 一緒に公園でOOLしよう!

「Made in Serigaya (メイドイン芹ヶ谷)」にご参加ください!

市では、子どもも大人も学び楽しめる「芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム」の実現を目指し、公園の将来につながる実験的な取り組みを行う「Made in Serigaya(メイドイン芹ヶ谷)」というプロジェクトを進めています。活動の様子や、参加希望はQRコードから。



町田市 おいしい町田の野菜を召し上がれ!

◆自宅から新鮮野菜を注文

アプリ「クックパッドマート」で町田産農産物等の食材を注文すると、最短で当日午後5時以降に市内の生鮮宅配ボックスで受け取れます。受け取り場所は次のとおり。

- ・町田市民ホール
- ・和光大学ポプリホール鶴川
- ・市立総合体育館
- ・ココカラファインドラッグストアいよいよ町田中町店
- ・ココカラファイン相模大野7丁目店
- ・コインランドリーピエロ相模台店
- ・コインランドリーピエロ若松店

◆野菜の美味しさにびっくり!直売所に行こう

- ・町田市薬師池公園四季彩の杜 西園農産物直売所
- ・JA町田市農産物直売所アグリハウス(鶴川、忠生、さかい、みなみ、まちだ)
- ・市庁舎1Fコンビニエンスストア
- ・市役所まち☆ベジ市(毎月第3月曜に市役所開催※)。次回は11月16日(日)午前11時~午後1時

日曜朝市 毎月第1日曜に教育センター駐車場で開催(※)。次回は11月1日(日)午前7~8時。

※まち☆ベジ市、日曜朝市の開催日は変更になることがあります。



あの日の残り香を探して...

てくてく昭和



レコードを愛おしそうに見つめる末武さん。リクエストすると店内に音を流してくれる

古き良きアナログ音と出会える

レコードハウス パム



「レコードハウス パム」(中町)は1978年、市内初の輸入盤レコード専門店として開店した。当時はセックス・ピストルズやイーグルスの全盛期。国内で製造され、流通するレコードは、そんな著名ミュージシャンらの楽曲に限られていた。ロックやジャズ、ブルースなどのマイナーなレコードを手に入れるには、輸入盤に頼るしかなかった。パムの社長、末武直俊さん(69)も高校時代から洋楽に魅せられたひとり。専門店のある新宿などに足を延ばさずとも、地元で購入できれば便利だと考えた。大学卒業後、音楽業界で働いていたが、一念発起して開店した。輸入盤の卸問屋は数多く存在していた時代で、店では1枚から仕入れをすることができた。欧米で人気が出始め、国内ではまだ流通していないような楽曲を見つけ、店に置くのが専門店の腕の見せどころ。外国の専門誌や常連さんの音楽談義をヒントにした。「これは売れそうだと、思い切って20枚仕入れたのが完売した時の快感といったら」と笑顔をのぞかせる。1980年代に入ると、コンパクトディスク(CD)が音楽市場を席巻しはじめ、昭和の時代と共にレコードの製造は幕を下ろした。しかし、CDへの切り替えにより、中古レコードの買い取りが飛躍的に増加。「1日で1000枚くらい買い取ったこともあり、店は活況でした」と振り返る。店では中古品が主力商品になった。レコードの溝の汚れを超音波で落とす独自のクリーニングを編み出し、専門誌で話題となった。「表面を綺麗にするのではなく、音を良くするのが本来の仕事」と胸を張る。レコードの音はデジタルよりはるかに勝るとの自信がある。「アナログ盤は当時の音を忠実に再現している。音にこだわる人は、今もレコードを求めに来ますよ」。長く商売をしていると、当時高校生だった紳士が三十年ぶりに来店するような場面もある。「まだ店があったの、と驚かれる。見た目は変わっても表情は変わらない。会話をすると思い出す」とにっこり。レコードの文化を後世に伝える使命がある。常連さんにそう言われると、「そろそろ引退したいなんて思うけど、なかなかやめられないね」と尻尾を下げてこぼしていた。



町田市中町1-15-9 AUビル2階 ☎042-723-1005 営13:00~20:00 火・水曜定休